

第五次長期総合計画後期基本計画策定に向けた アンケート調査結果について

目次

1. 市民意識調査	2
1. 1. 実施概要	3
1. 2. 実施結果（抜粋）	4
2. 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）	7
2. 1. 実施概要	8
2. 2. 実施結果（抜粋）	9
3. 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）	11
3. 1. 実施概要	12
3. 2. 実施結果（抜粋）	13
4. 子ども意見の聴取	15
4. 1. 実施概要	16
4. 2. 実施結果（抜粋）	17
5. 市民ワークショップ	19
5. 1. 実施概要	20
5. 2. 実施結果（抜粋）	21

1. 市民意識調査

1. 市民意識調査

1. 1. 実施概要

- 市民意識調査の調査目的・概要は以下になります。

調査目的

市民の皆様のニーズを的確に捉える必要があるため、市民の皆様の日常生活について「意識」と「行動」の両面から捉え、それらを踏まえて、よりよい計画づくりを行うことを目的として、アンケートを実施しました。

調査概要

実施時期

令和6年5月28日（火）～6月19日（水）

実施対象

令和6年5月の時点で市内にお住まいの18歳以上の方々2,000名を無作為に抽出

有効回収数

384件

調査内容

1. あなた（回答者）自身について
2. 武蔵村山市に住んで感じたこと
3. 市の取組に対する評価と今後への期待について
4. 武蔵村山市のまちづくりの施策について



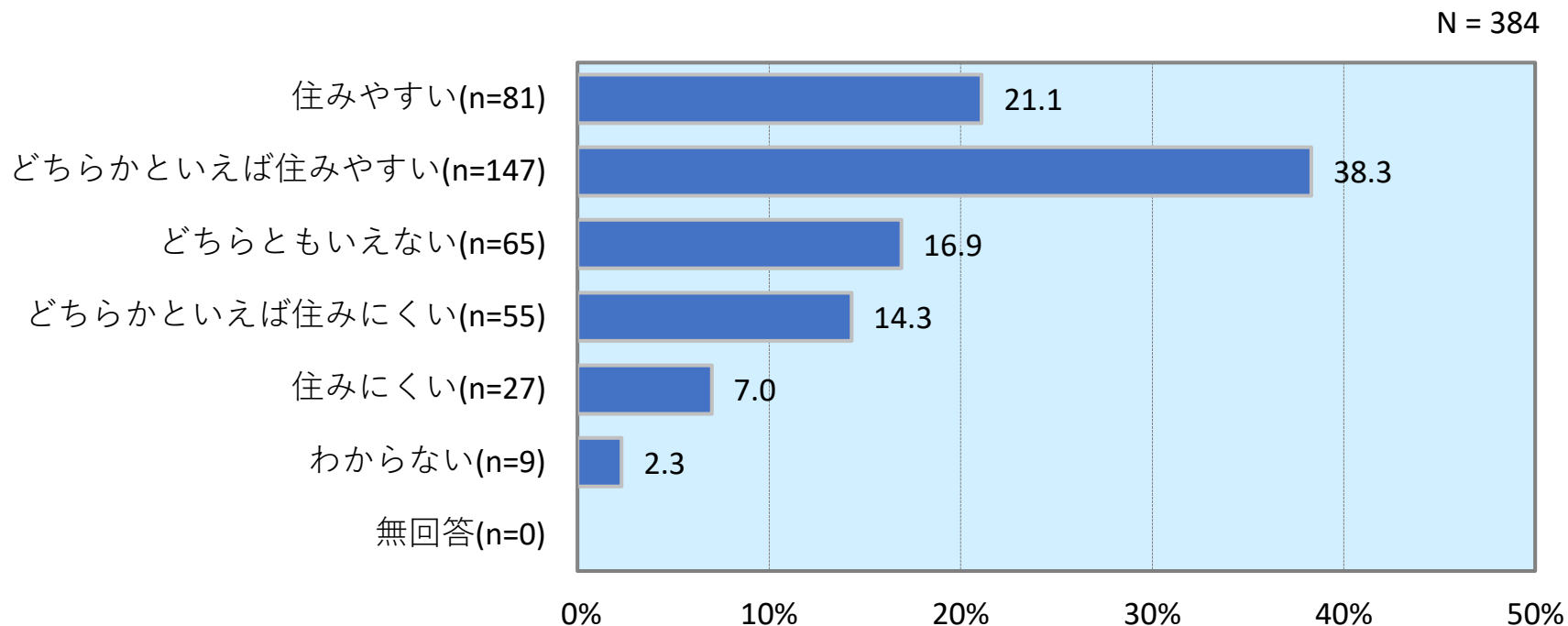
次頁以降で、市民の市に対する所感や評価を確認するため、「2. 武蔵村山市に住んで感じたこと」及び「3. 市の取組に対する評価と今後への期待について」の項目について、結果を抜粋して掲載しています。

1. 市民意識調査

1. 2. 実施結果（抜粋）

■ 住みやすさ

■「どちらかといえば住みやすい」、「住みやすい」、「どちらともいえない」の順で回答が多く挙がりました。

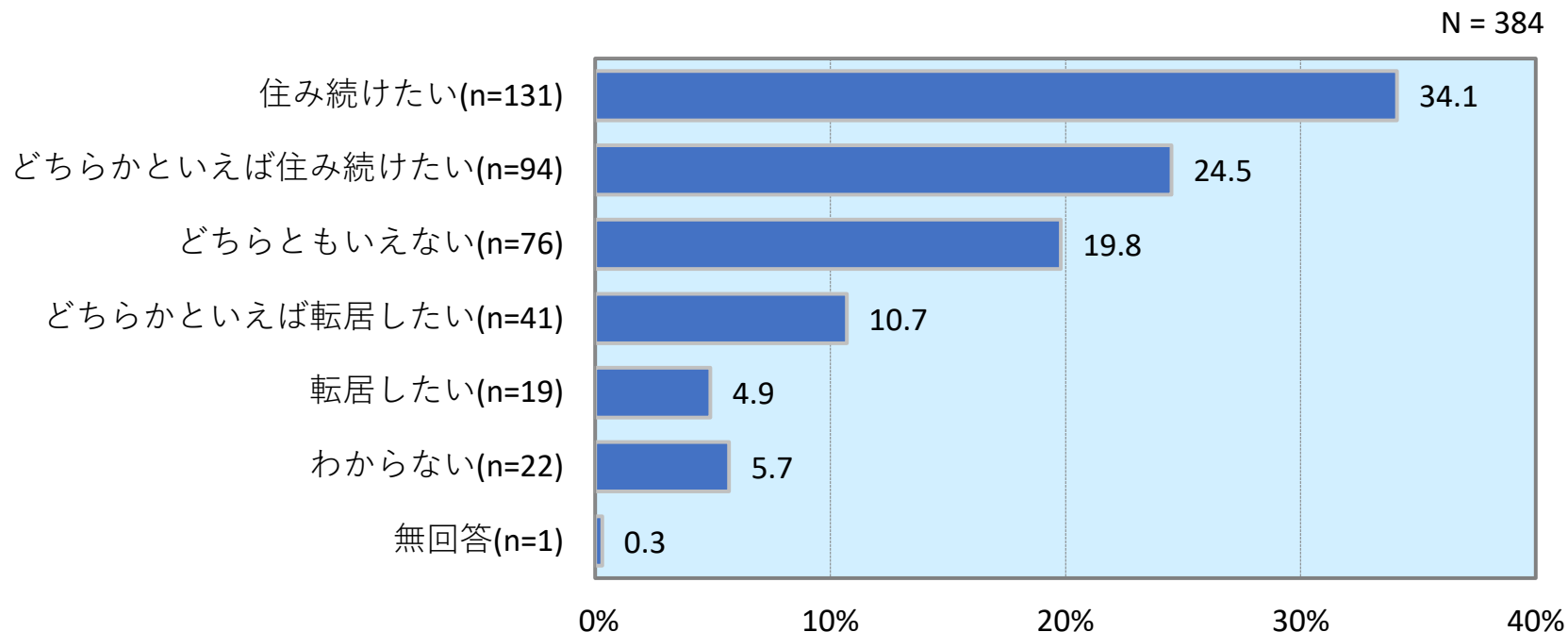


1. 市民意識調査

1. 2. 実施結果（抜粋）

■ 住み続けたいか

■ 「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「どちらともいえない」の順で回答が多く挙がりました。

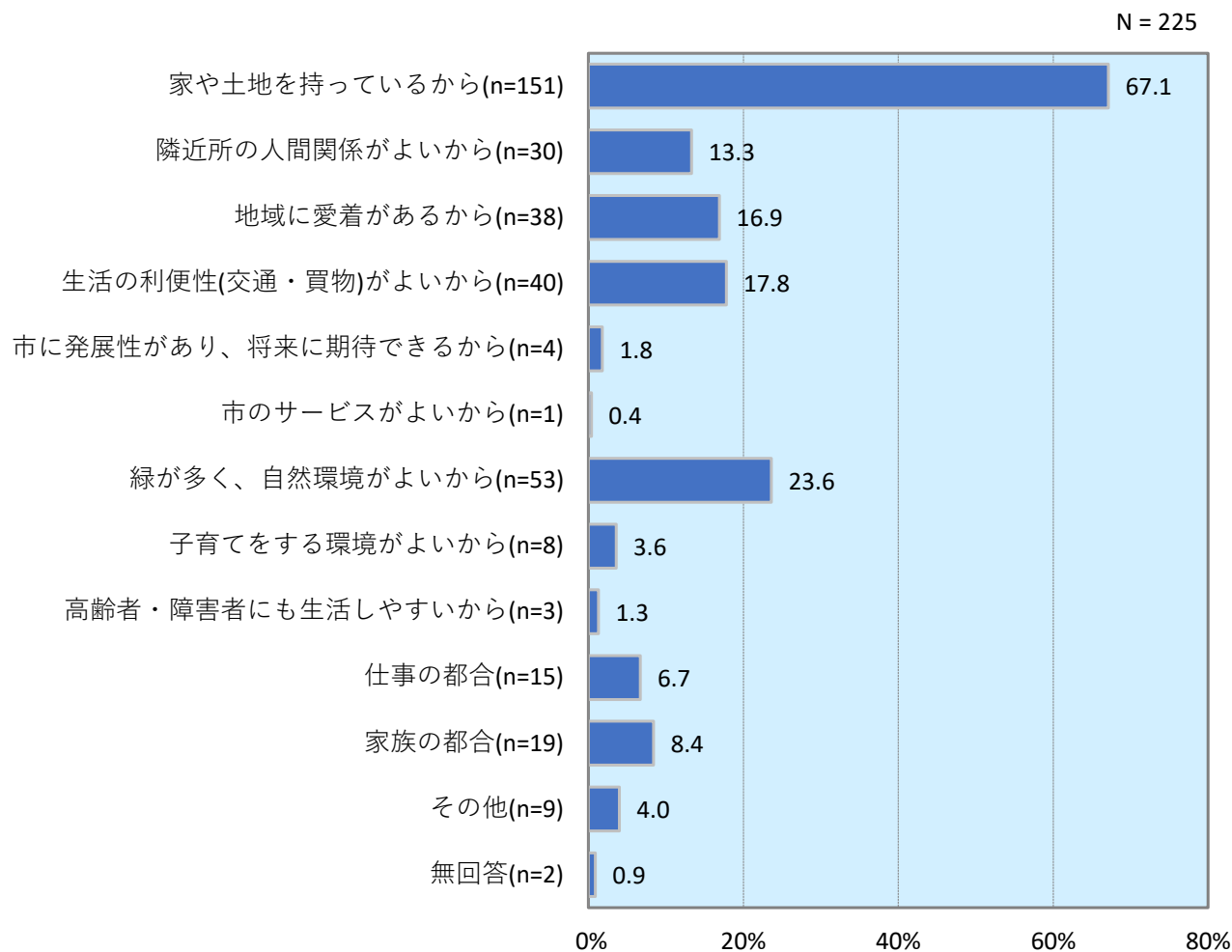


1. 市民意識調査

1. 2. 実施結果（抜粋）

■ 住み続けたい理由

■「家や土地を持っているから」、「緑が多く、自然環境がよいから」、「生活の利便性(交通・買物)がよいから」の順で回答が多く挙がりました。



2. 人口移動に関する意向調査 (転入者意向調査)

2. 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

2. 1. 実施概要

- 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）の概要は以下になります。

調査目的

本市への転入理由、住みやすさなどについて御意見を伺い、後期基本計画策定の参考にするとともに、今後の市政の基礎資料とすることを目的として、アンケートを実施しました。

調査概要

実施時期

令和6年5月28日（火）～6月19日（水）

実施対象

令和4年4月1日から令和6年3月31日までに武蔵村山市に転入した方々1,000名（無作為抽出）

有効回収数

137件

主な調査項目

1. あなた（回答者）自身について
 - －性別・年齢・職業・勤務先
 - －転入前後の居住地域
 - －転入前後の住居 など
2. 武蔵村山市への転入理由、市の住みやすさ
 - －転入理由・引越し検討時の候補自治体
 - －将来的に武蔵村山市に住み続けたいか
 - －転出する場合に想定される理由
 - －武蔵村山市に住んで感じていること など



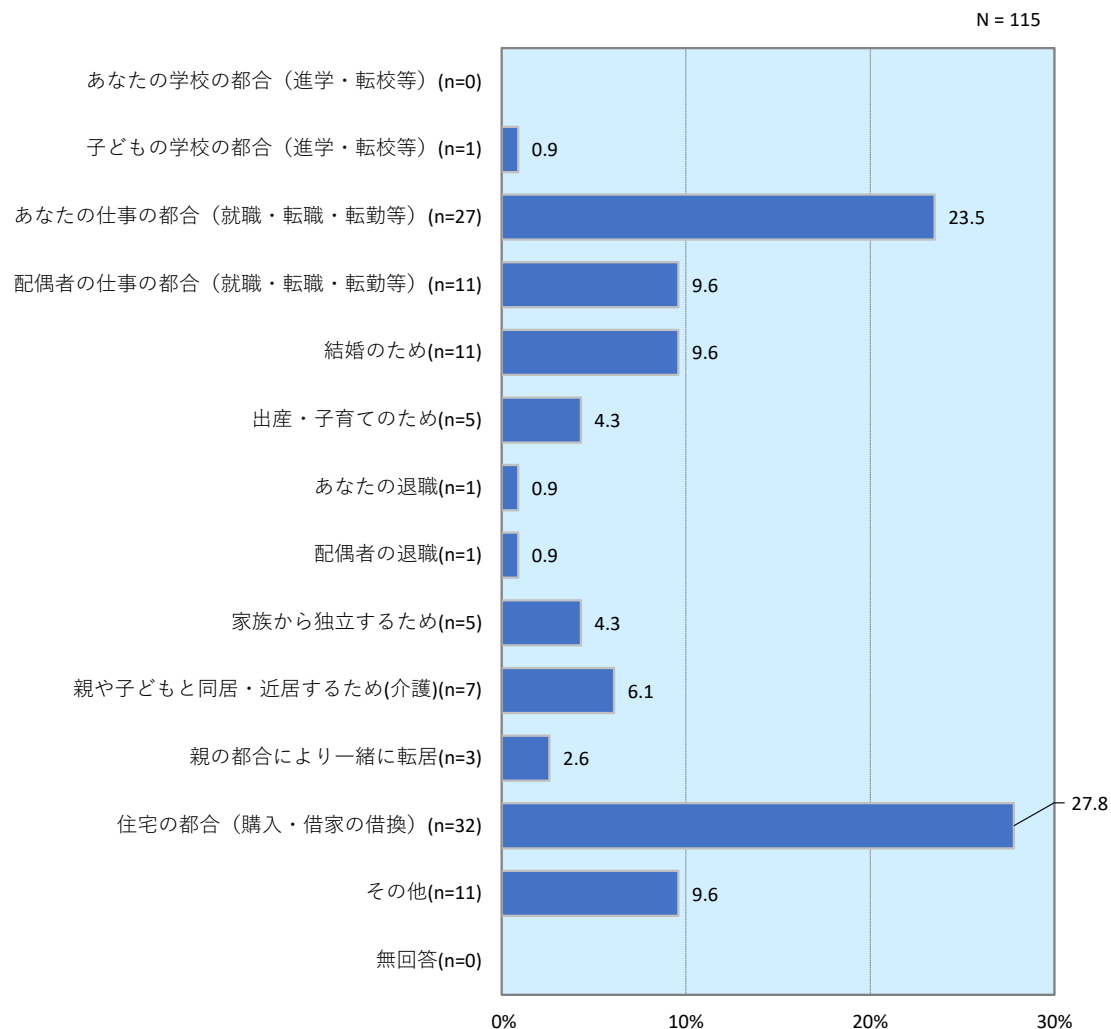
次頁以降で、人口の増加に向けて重要と考えられる「転入理由」及び「将来的に武蔵村山市に住み続けたいか」の項目について、結果を抜粋して掲載しています。

2. 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

2. 2. 実施結果（抜粋）

■ 転入理由

- 「住宅の都合（購入、借家の借換）」、「あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）」、「配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）」、「結婚のため」の順で回答が多く挙がりました。

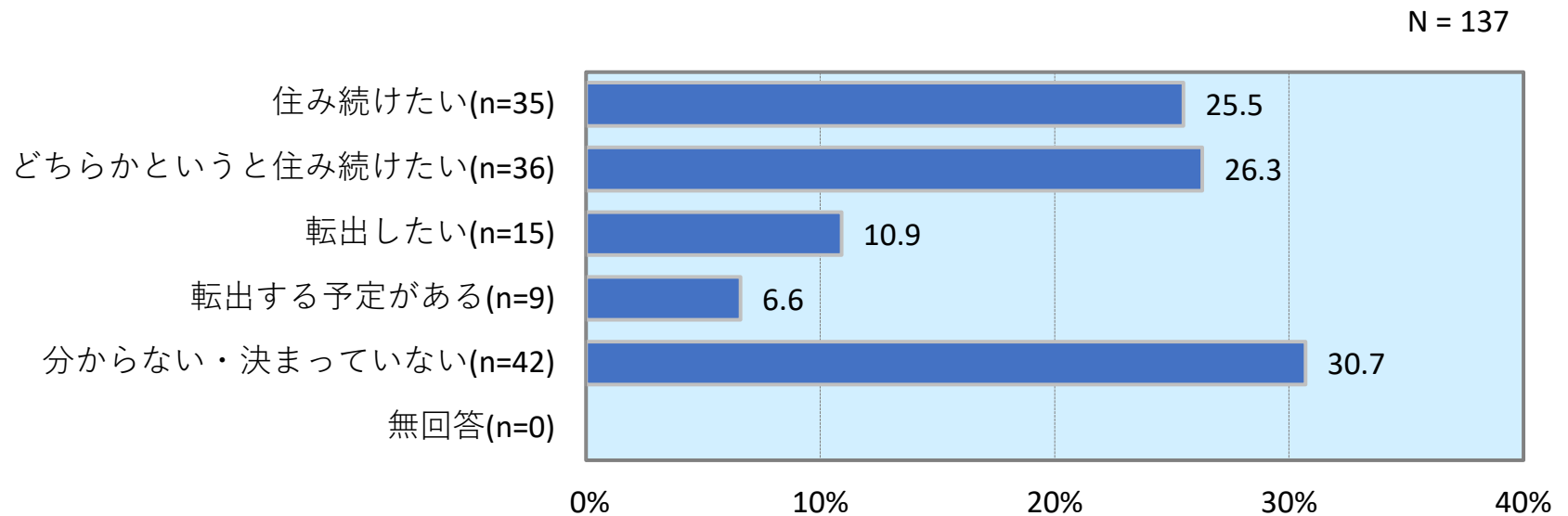


2. 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

2. 2. 実施結果（抜粋）

■ 将来的に武蔵村山市に住み続けたいか

■ 「分からない・決まっていない」、「どちらかというに住み続けたい」、「住み続けたい」の順で回答が多く挙がりました。



3. 人口移動に関する意向調査 (転出者意向調査)

3. 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

3. 1. 実施概要

- 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）の調査目的・概要は以下になります。

調査目的

本市からの転出理由、住みやすさなどについて御意見を伺い、後期基本計画策定の参考にするとともに、今後の市政の基礎資料とすることを目的として、アンケートを実施しました。

調査概要

実施時期

令和6年5月28日（火）～6月19日（水）

実施対象

令和4年4月1日から令和6年3月31日までに武蔵村山市から転出した方々1,000名（無作為抽出）

有効回収数

109件

主な調査項目

1. あなた（回答者）自身について
 - －性別・年齢・職業・勤務先
 - －転出前後の居住地
 - －転出前後の住居 など
2. 武蔵村山市への転出理由、市の住みやすさ
 - －転出理由・引越し検討時の候補自治体
 - －転出後の自治体の良い点
 - －武蔵村山市がどのような街になれば、再び住みたいか
 - －武蔵村山市に住んでいた際に感じていたこと など



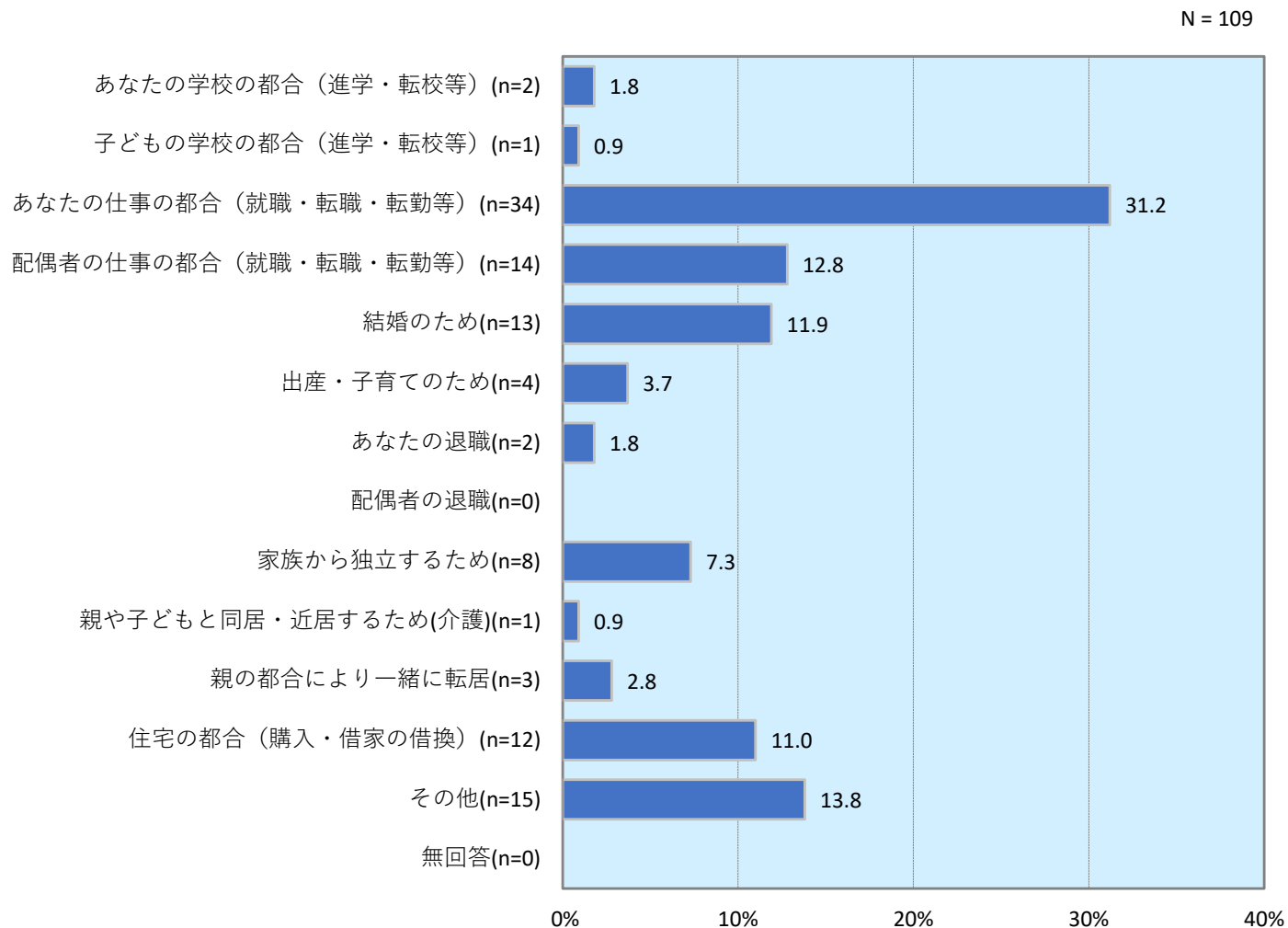
次頁以降で、人口減少の抑制に重要と考えられる「転出理由」及び「どのような街になれば、再び住みたいか」の項目について、結果を抜粋して掲載しています。

3. 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

3. 2. 実施結果（抜粋）

■ 転出理由

■「あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）」、「配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）」、「結婚のため」の順で回答が多く挙がりました。

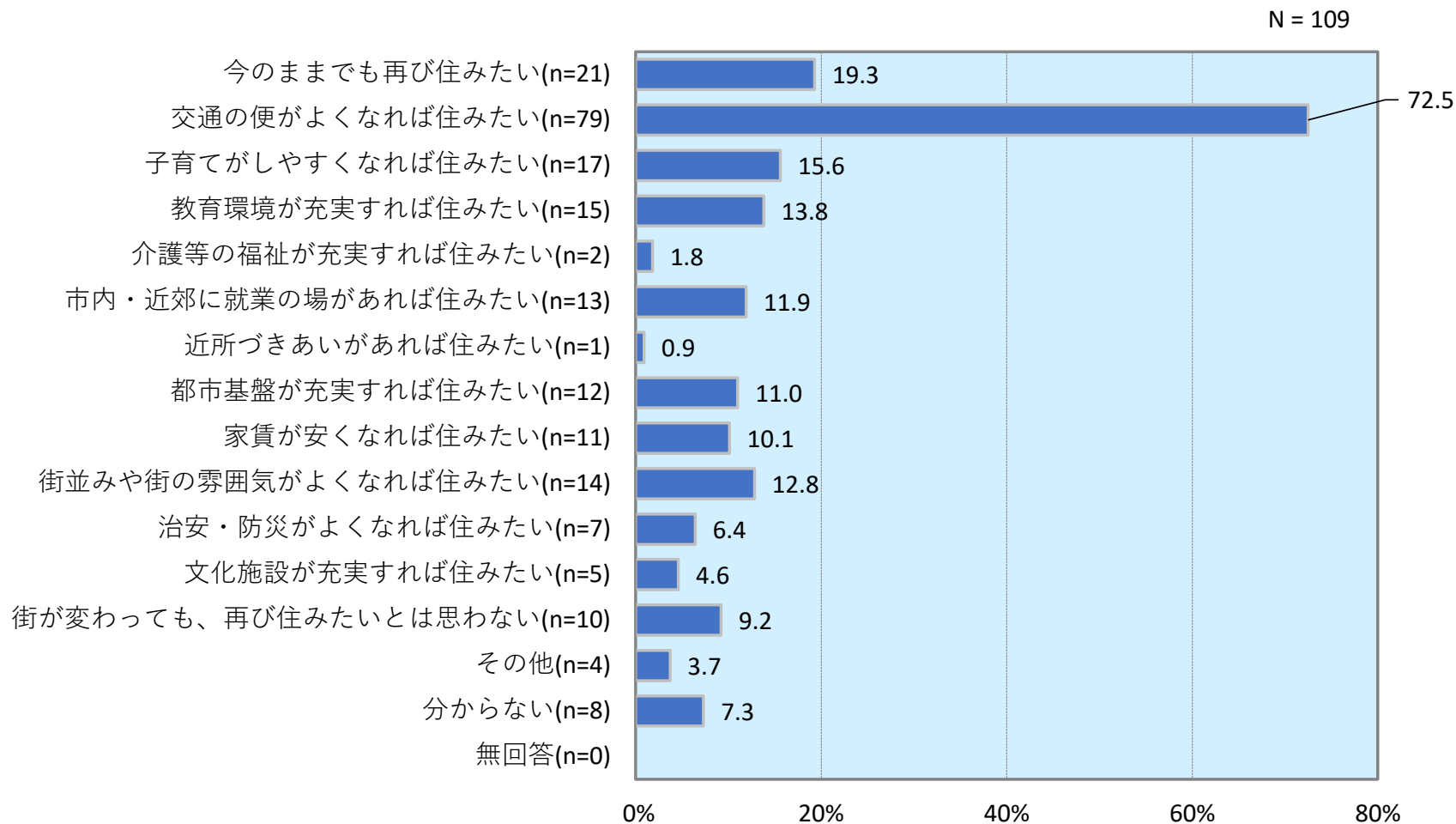


3. 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

3. 2. 実施結果（抜粋）

■ 武蔵村山市がどのような街になれば、再び住みたいと思うか

- 「交通の便がよくなれば住みたい」、「今のままでも再び住みたいと思う」、「子育てがしやすくなれば住みたい」の順で回答が多く挙がりました。




4. 子ども意見の聴取

4. 子ども意見の聴取

4. 1. 実施概要

- 子ども意見の聴取の調査目的・概要は以下になります。

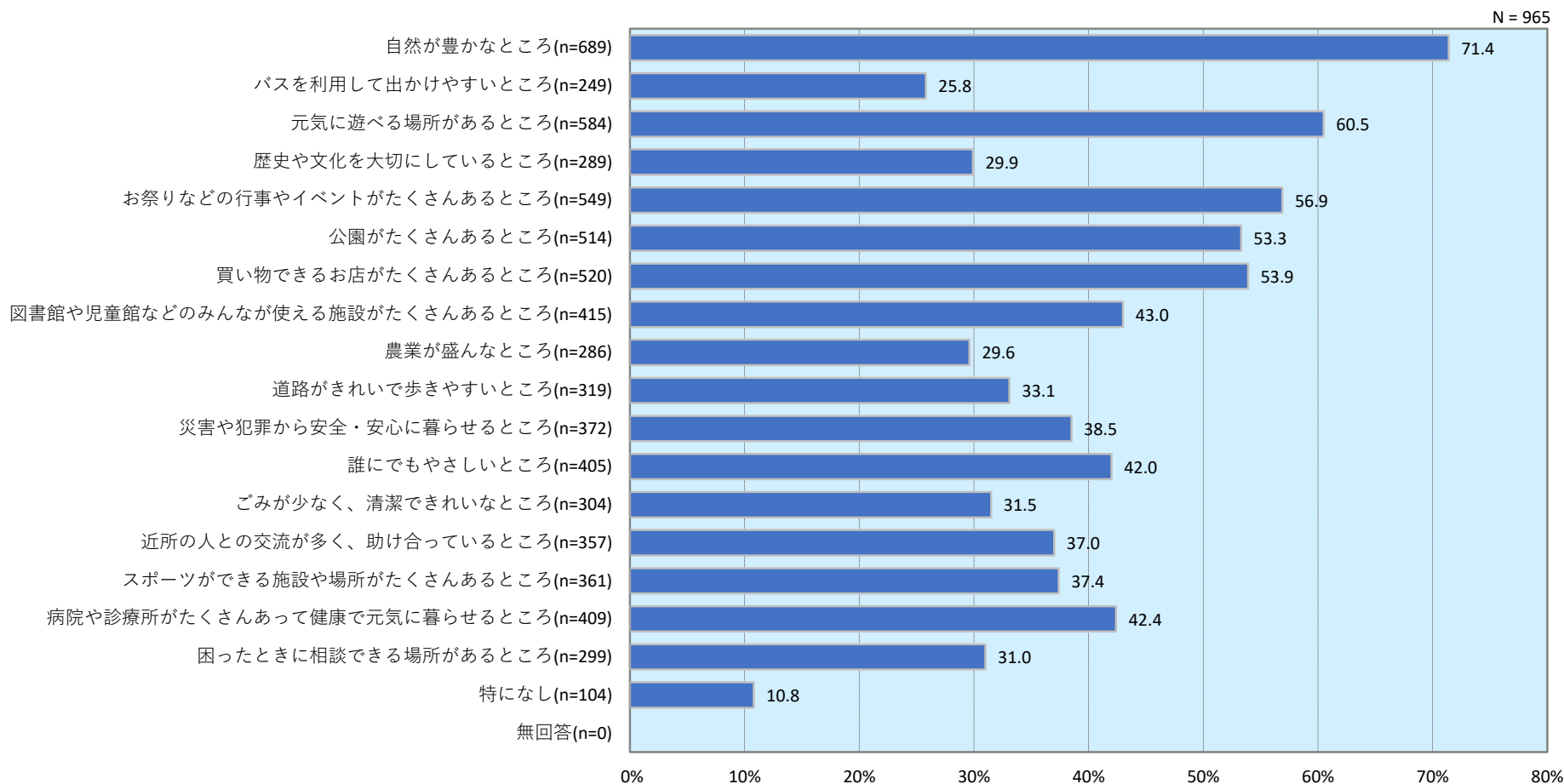
調査目的	武蔵村山市立の学校に在学している小・中学生に、市に対するイメージや好きな点、改善してほしい点などについて意見を伺い、後期基本計画策定の参考にするとともに、今後の市政の基礎資料とすることを目的として、アンケートを実施しました。	
調査概要	実施時期	令和6年7月8日（月）～7月19日（金）
	実施対象	武蔵村山市立の学校に在学している小学校3年生～中学校3年生
	有効回収数	965件
	主な調査項目	<ol style="list-style-type: none">1. あなた（回答者）について（学年・性別・学校）2. 武蔵村山市について思うこと<ul style="list-style-type: none">－武蔵村山市へのイメージ－武蔵村山市の好きな点・改善してほしい点3. 今後の武蔵村山市について<ul style="list-style-type: none">－将来も武蔵村山市に住みたいか－武蔵村山市にどのようなまちになってほしいか4. 自由意見
<div> 次頁以降で、現在の小・中学生が武蔵村山市に対してどのように思っているか（好きな点・改善してほしい点）についての結果を抜粋して掲載しています。</div>		

4. 子ども意見の聴取

4. 2. 実施結果（抜粋）

■ 武蔵村山市の好きな点

■「自然が豊かなところ」、「元気に遊べる場所があるところ」、「お祭りなどの行事やイベントがたくさんあるところ」の順で回答が多く挙がりました。

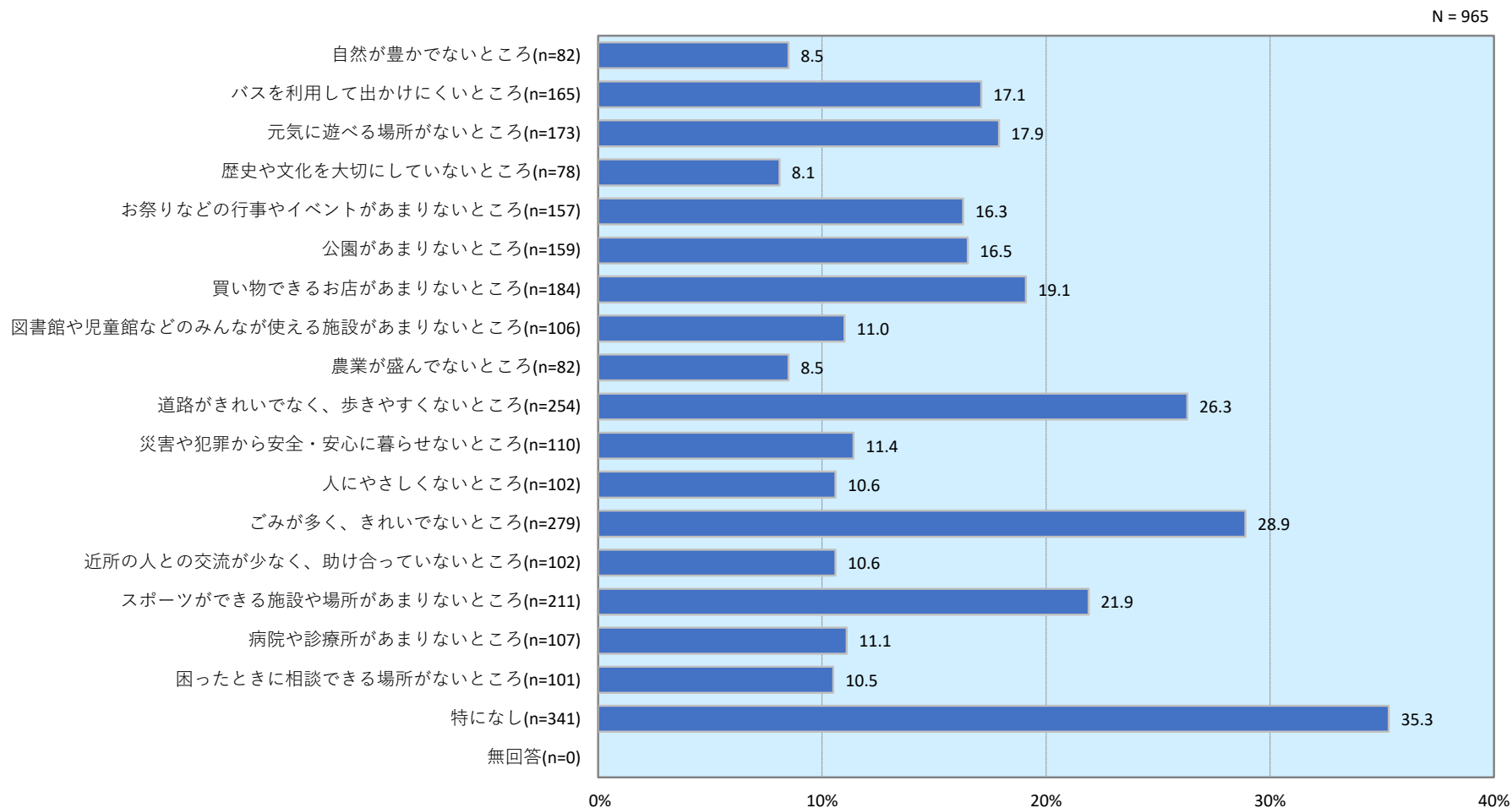


4. 子ども意見の聴取

4. 2. 実施結果（抜粋）

■ 武蔵村山市の改善してほしい点

■「特になし」、「ごみが多く、きれいでないところ」、「道路がきれいでなく、歩きやすすくないところ」の順で回答が多く挙がりました。



5. 市民ワークショップ°

5. 市民ワークショップ

5. 1. 実施概要

- 市民ワークショップの調査目的・概要は以下になります。

調査 目的

「武蔵村山市の課題と理想の未来、課題と理想の未来のギャップを埋める施策について」をテーマに、市民の皆様から武蔵村山市の「現在」や「未来」について御意見をいただくことを目的として、ワークショップを実施しました。

調査 概要

実施時期

令和6年6月29日（土）

実施対象

武蔵村山市在住の市民

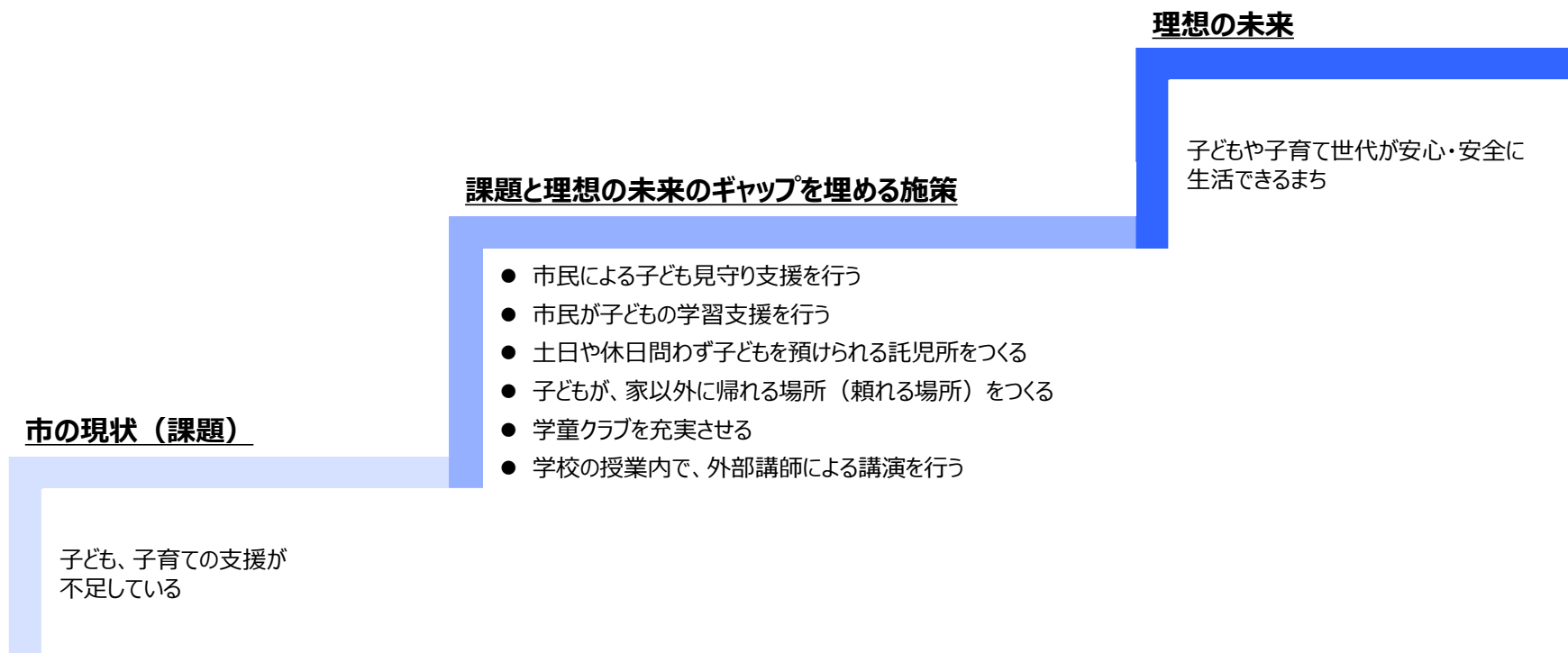
参加者数

6名

5. 市民ワークショップ

5. 2. 実施結果（抜粋）

- 武蔵村山市の課題として、「子ども、子育てへの支援の不足」が多く挙げられました。理想の未来は、「子どもや子育て世代が安心・安全に生活できるまち」とした上で、課題と理想の未来のギャップを埋める施策としては、「市民による子どもの見守り・学習支援」や「土日や休日問わず利用できる託児所設立」、「学童クラブ等、子どもが家以外に帰れる場所の創出・充実」等が挙げられました。



5. 市民ワークショップ

5. 2. 実施結果（抜粋）

- 武蔵村山市の課題として、「市民の防災・防犯意識の低さ」も多く挙げられました。理想の未来は、「安心・安全なまち」とした上で、課題と理想の未来のギャップを埋める施策としては、「防犯カメラや非常電話の増設」や「警察によるパトロールの強化」、「防災訓練の定期的な開催」等が挙げられました。

